

令和7年3月吉日

保護者の皆様

一宮市立丹陽小学校
校長 室町 臣彦

「令和6年度 丹陽小学校教育活動評価」結果の報告

春暖の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃は、本校の教育活動にご理解ご協力をいただき、心より厚くお礼申し上げます。

さて、過日は令和6年度「丹陽小学校教育活動評価」にご協力をいただき、ありがとうございました。結果が集約できましたのでご報告させていただきます。また、子どもたちにも「学校生活アンケート」を行いましたので、その結果も合わせてご報告させていただきます。

PI～P3 「保護者アンケート・児童アンケートの比較」について

令和6年12月に、保護者対象に実施した「教育活動評価」と、児童対象に実施した「学校生活アンケート」から、関連する質問項目について結果を比較しました。左の列が「保護者アンケート」、右の列が「児童アンケート」です。これを、令和3年度から4年分をまとめ比較しました。

P4～P7 「保護者アンケートより」「児童アンケートより」について

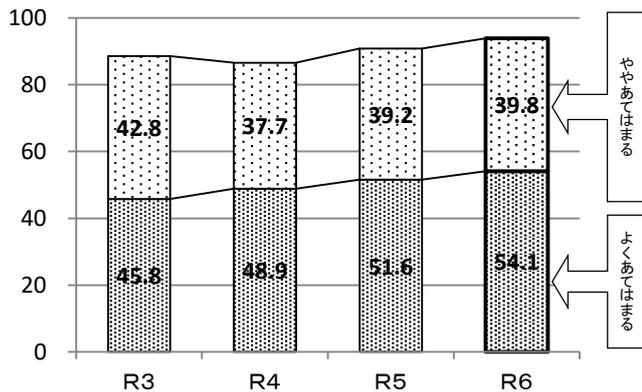
保護者対象の「教育活動評価」と、児童対象の「学校生活アンケート」のうち、上記比較に使わなかった項目を、令和3年度から4年分をまとめ比較しました。

・調査結果から傾向をつかみ、次年度に向けての課題を【傾向と今後に向けて】にまとめました。

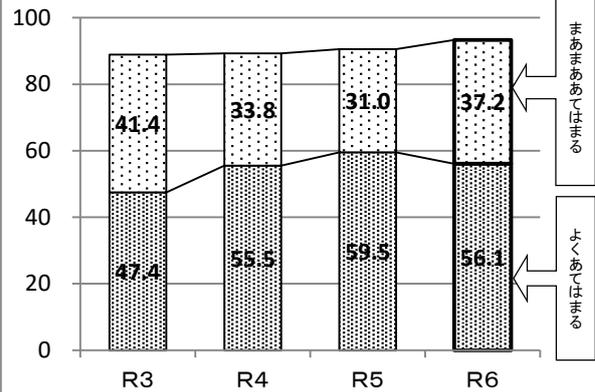
・学校運営協議会において、いただいたご意見を【運営協議会によるご意見】としてまとめました。

保護者アンケートより

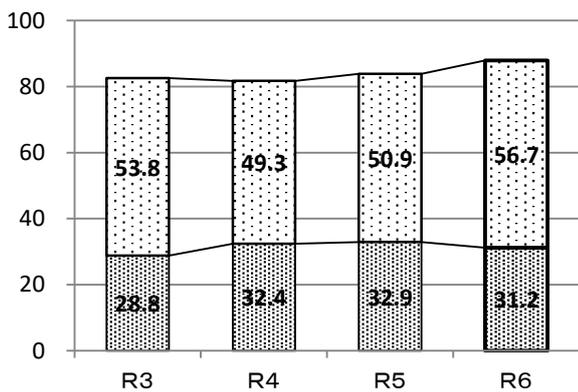
(%) お子さんは、学校や学級が楽しいと言っている。



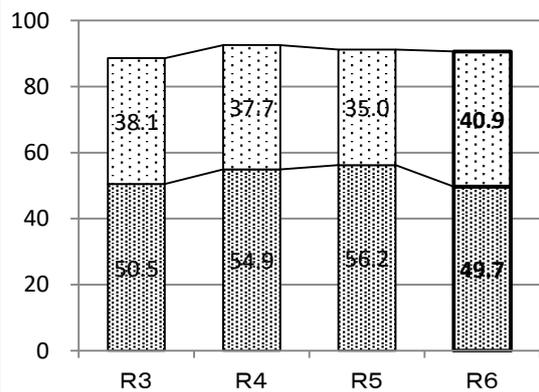
(%) 学校は、楽しいですか。



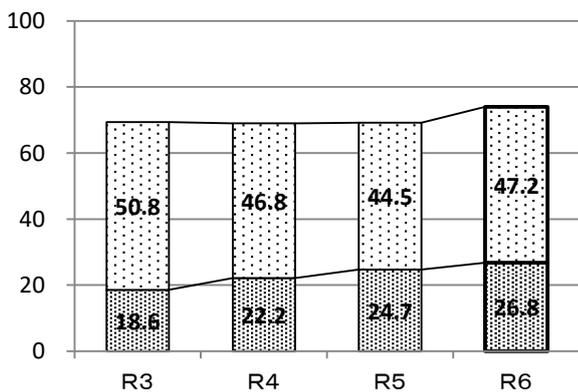
お子さんは、授業がわかりやすいと言っている。



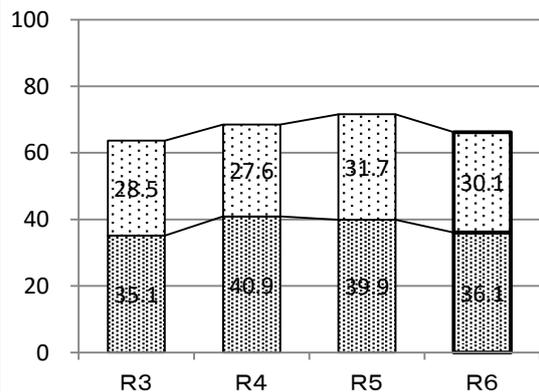
授業は、わかりますか。



お子さんは、進んで学習に取り組んでいる。



手をあげてよく発表しますか。



【傾向と今後に向けて】

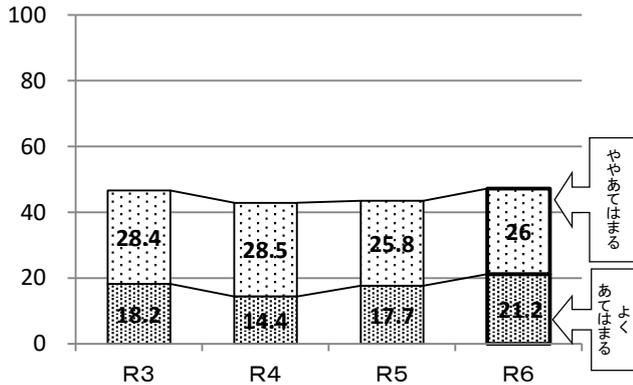
児童や保護者の「学校が楽しい」と感じる割合について、「よくあてはまる」と「ややあてはまる(保護者)」「まあまああてはまる(児童)」を合わせた数値が、昨年度より増加しました。さらに、保護者アンケートでは、「授業がわかりやすいと言っている」「進んで学習に取り組んでいる」の数値も増えています。学校生活の大半を占める授業が充実することは、学校生活全体の充実につながると考えられます。本年度の授業では、言語活動を充実させた協働的な学習を進め、児童が自ら考え、互いに伝え合い、高め合う授業を目指してきました。また、児童が意見を出し合える学習活動を増やし、一人一人が理解を深められるよう工夫しました。こうした「分かる楽しさ」の実感が、「学校が楽しい」という気持ちにつながっていくと考えられます。

さらに、本年度は、学校行事やペア活動の充実にも力を入れました。児童が主体的に準備や運営に関わる場面を増やし、達成感を味わえる機会を多く設けたことも、「学校が楽しい」と感じる要因の一つになっています。

「学校が楽しい」と感じることは、市の教育施策においても重要な指標であり、児童の健やかな成長や学力向上にも関わる大切な要素です。今後も、児童が安心して学び、意欲をもって成長できる学校づくりを進めてまいります。

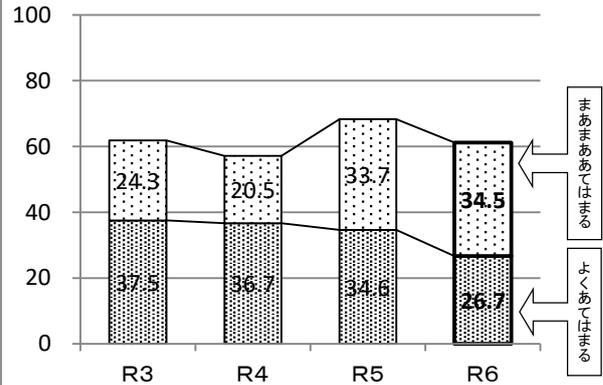
保護者アンケートより

(%) お子さんは、読書の習慣が身についている。

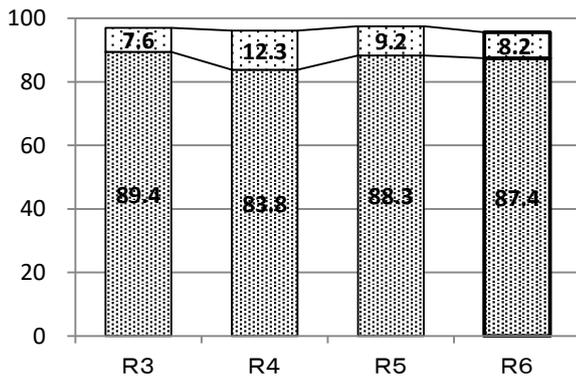


児童アンケートより

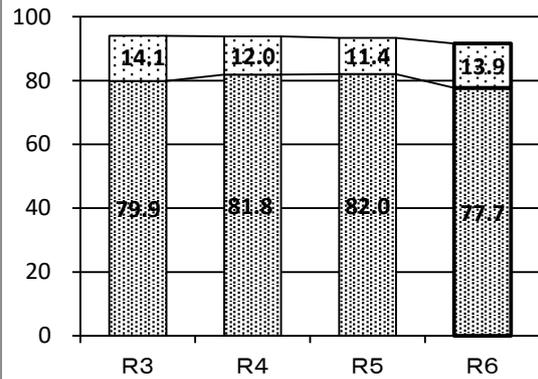
(%) 本をよく読みますか。



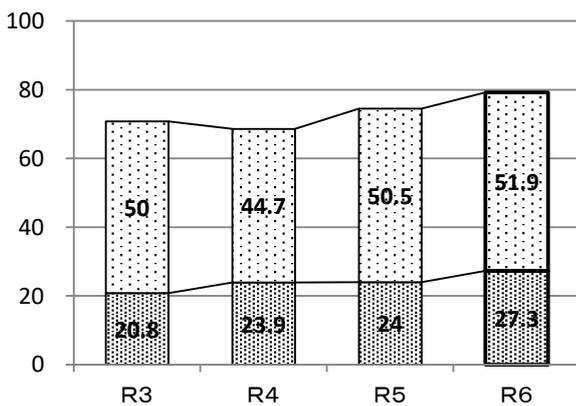
お子さんは、毎日朝ご飯を食べている。



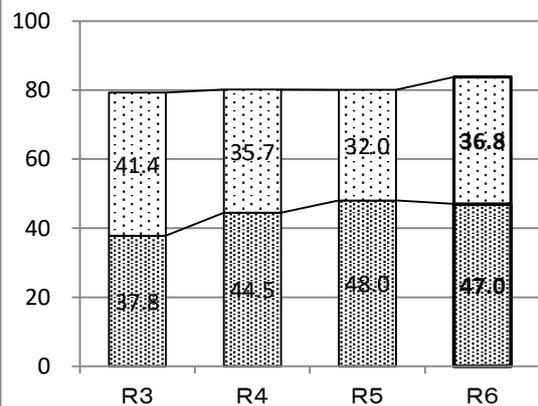
毎日、朝ごはんを食べていますか。



お子さんは、進んであいさつができる。



あいさつを元気よくしていますか。



【傾向と今後に向けて】

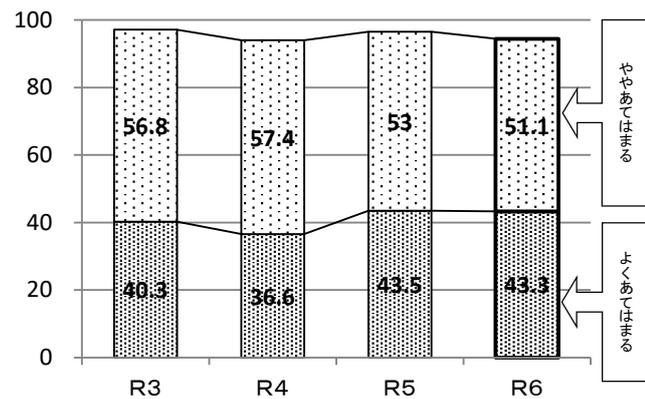
保護者・児童ともに、「毎日朝ごはんを食べている」という質問への回答は、高い数値を維持しています。「早寝・早起き・朝ごはん」は、健やかな体を育むうえで欠かせません。ご家庭でも引き続き、「毎朝確実に、栄養バランスの取れた食事をする」習慣の定着にご協力いただきますようお願いいたします。

「あいさつ」については、保護者・児童ともに数値が増加しています。本年度も、学校運営協議会家庭教育部会主催の「あいさつデー」や、児童会主催の「あいさつ運動」を実施しました。今後も、元気にあいさつができる児童を増やすため、地域・保護者・学校が一体となり、あいさつを積極的に行っていきたいと考えております。地域や保護者の皆様とともに、進んであいさつができる児童を育てていきたいと考えています。

一方、読書については、児童の数値が減少しており、全体的にも高いとは言えません。学校では、学期ごとに読書週間を設け、さまざまな取り組みを通して読書好きな児童を増やすよう努めてきました。また、昨年度から「ほたる号」の図書を学級文庫として活用したり、「おるもちっちゃん」による読み聞かせを実施したりするなど、本に親しめる環境を整えてきました。今後は、さらに多くの児童が読書への関心を高められるよう、活動の工夫を重ねていきたいと考えています。

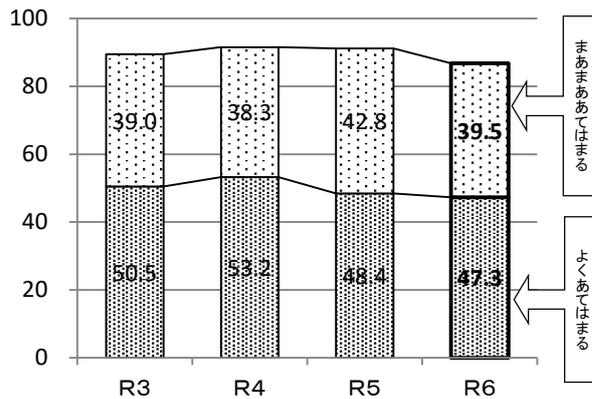
保護者アンケートより

(%) お子さんは、交通ルールやマナーを身につけている。

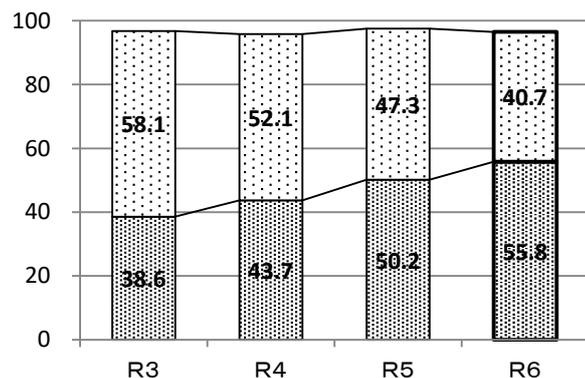


児童アンケートより

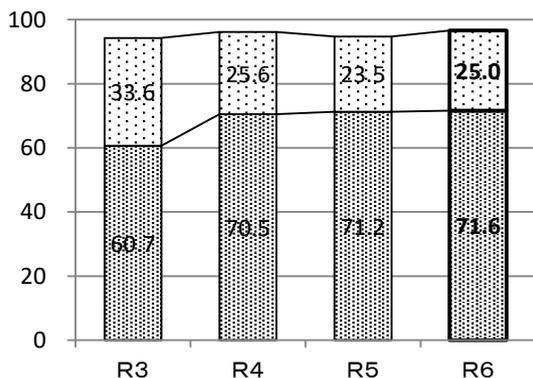
(%) 通学班では、仲よく安全に登校できていますか。



お子さんに、思いやりや豊かな心が育っている。



親切にしてもらったら「ありがとう」と言っていますか。



【傾向と今後に向けて】

「交通ルール・マナー」については、児童が身につけていると感じる保護者の回答が高い数値を維持しています。学校では、月に一度「班長・副班長会」を開催することで、安全な登下校について確認を行ってきました。今後は、児童がより「自分の命は自分で守る」ことの大切さを意識できるように指導を継続していきたいと思います。保護者の皆様にも、お子さんへの声かけを通して「交通ルール・マナー」を守ることの大切さを伝えていただければと思います。一方、「通学班で仲良く安全に登校できている」と感じる児童の数値はやや減少しました。引き続き、日頃の登下校時や「ミニ通学団」の機会を活用し、意識の向上を図っていききたいと思います。

「思いやりや豊かな心が育っている」と感じる保護者の回答も、高い数値を維持しています。今後も、児童同士のかかわりを大切に、一人一人を認め合う中で、やさしさや思いやりの気持ちを育てていきたいです。また、相手を思いやる言葉遣いも意識できるように「ふわふわことば」を広める運動も継続していきます。今後も、家庭・地域・学校が連携し、児童の豊かな心を育てていきたいと考えています。

<学校運営協議会によるご意見>

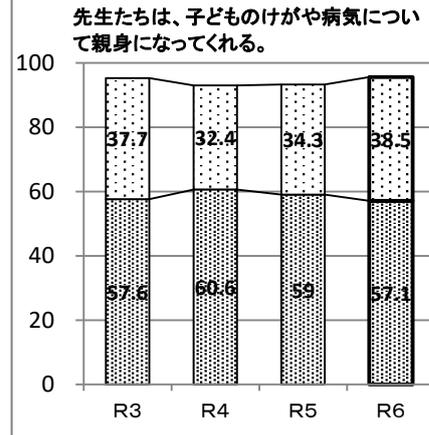
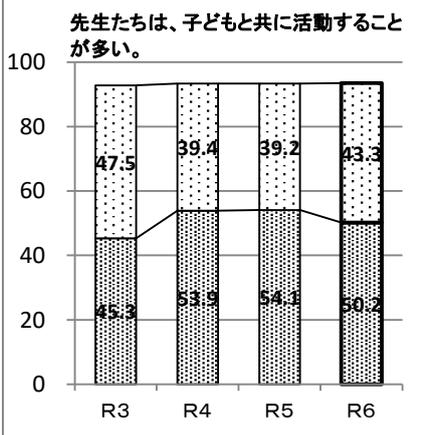
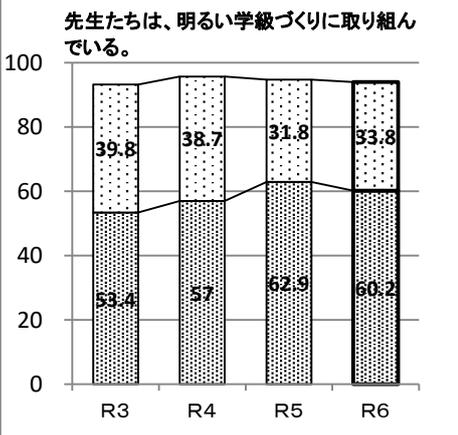
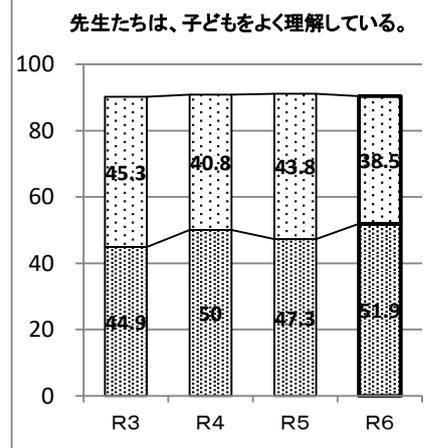
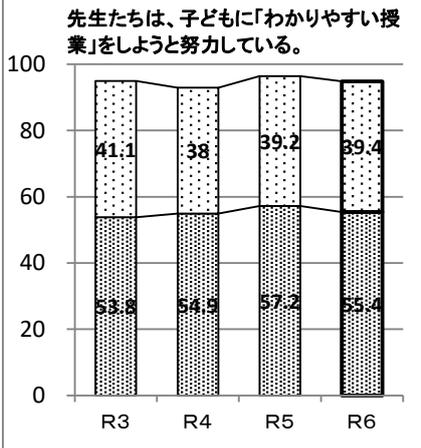
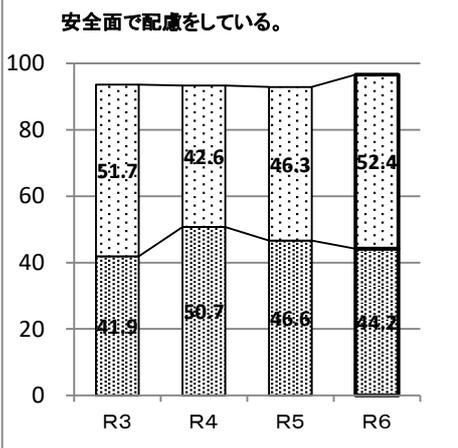
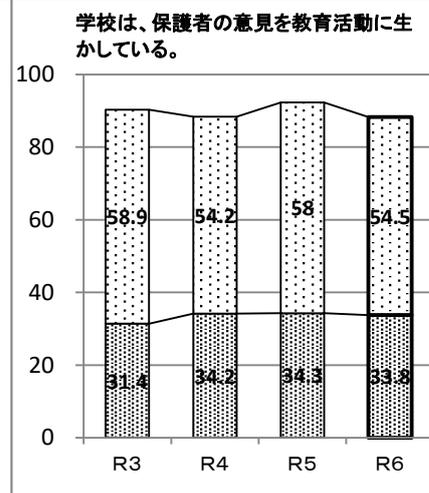
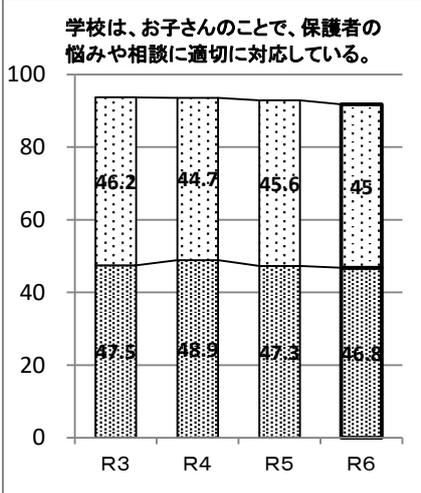
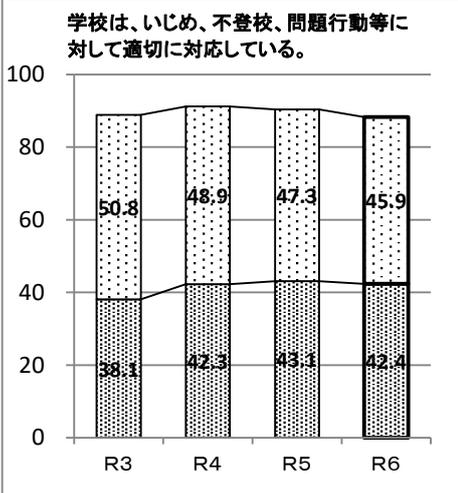
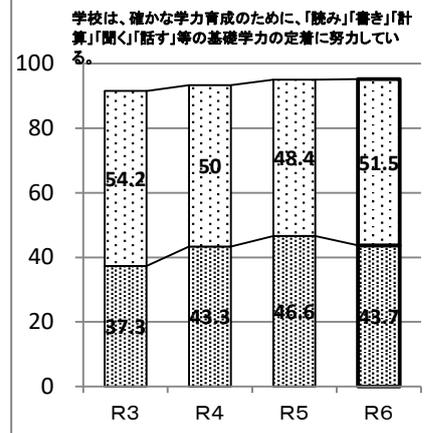
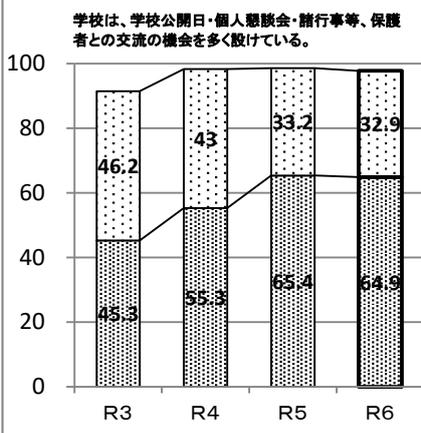
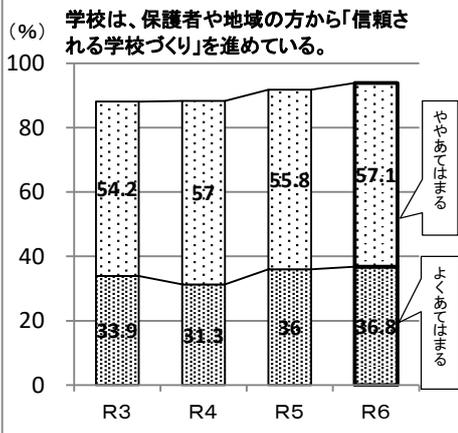
学校や学級が楽しいと感じる要因の一つに、児童が行事や学級内の係活動などで役割を担い、それを責任をもってやり遂げることで認められる経験がある。また、友達と遊ぶことやペア活動など、人と関わることで自分が楽しきにつながることも多い。今後も、ペア活動や縦のつながりを大切に活動した活動を継続してほしい。

あいさつについては、地域住人として登校時に児童へ継続して声をかけたところ、最初はなかなか返ってこないこともあったが、続けるうちに少しずつあいさつを返してくれるようになり、高学年の児童も積極的にあいさつする姿が見られるようになった。最近では登下校時以外にも「こんにちは」と声をかけてくれることが増え、それに対して「気をつけてね」と返すなど、自然な会話が生まれるようになった。あいさつを続けることの大切さを改めて実感している。

また、子どもの心を育てるためには、「ほめて認める」ことも重要である。学校も保護者も、子どもの良いところを積極的に見つけ、しっかりとほめることを大切にしてほしい。

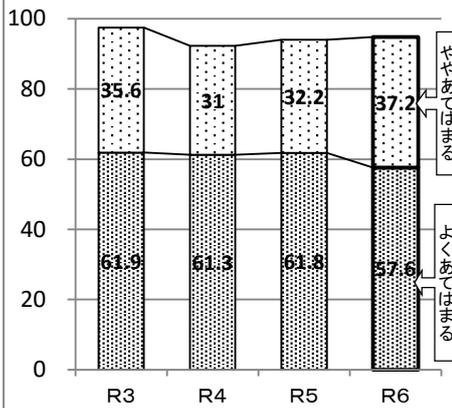
行事については、児童によってはプレッシャーを感じることもあるが、当日一生懸命頑張る姿を見て、成長を実感したとの声があった。児童が努力を積み重ねる経験を、今後も大切にしてほしい。

保護者アンケートより(その他の質問項目) 1

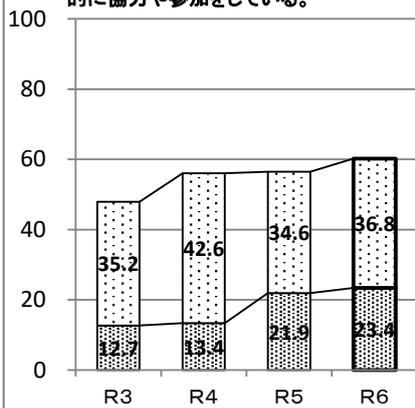


保護者アンケートより(その他の質問項目) 2

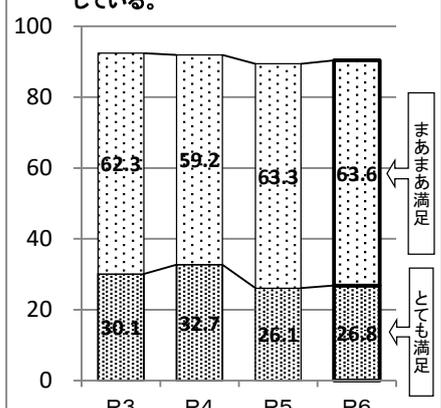
(%) 先生たちは、礼儀正しく親しみが持てる。



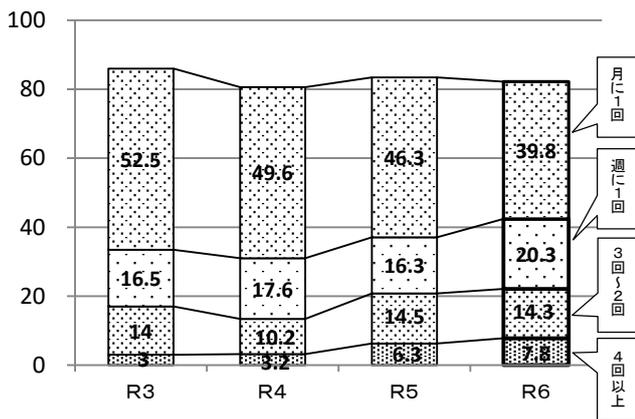
お子さんは、地域の行事や活動に、積極的に協力や参加をしている。



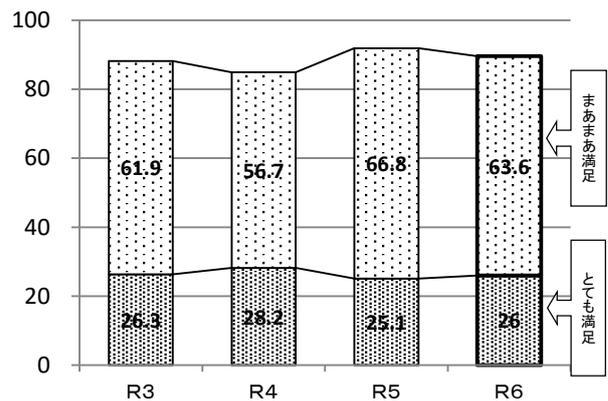
学校便り「丹陽の風と音」について満足している。



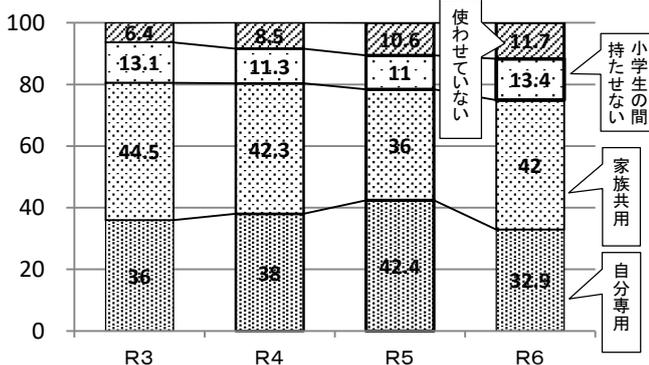
本校のウェブページを見ている回数。



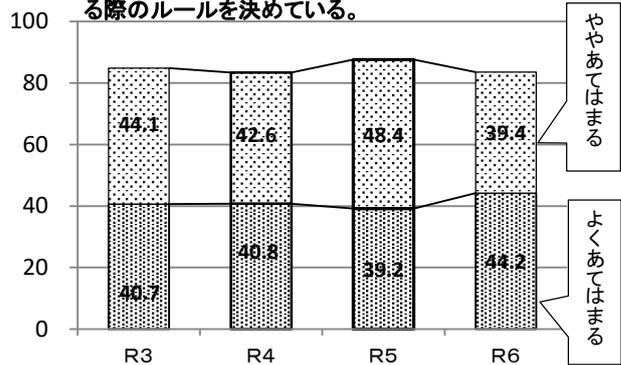
学校のウェブページの内容に満足している。



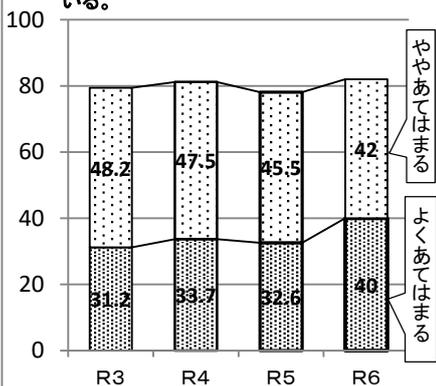
スマホ・携帯電話・タブレット等の使用について。



スマートフォン・携帯電話・タブレット・SNS等を利用する際のルールを決めている。



スマートフォン・携帯電話・タブレット・SNS等を利用する際のルールは守れている。



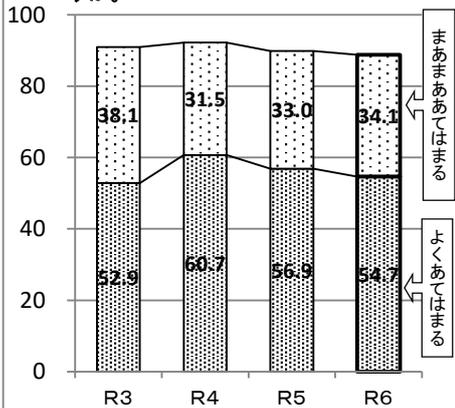
<保護者アンケートをまとめて>

「信頼される学校づくりを進めている」の数値は、昨年度より増加しています。また、「学校公開日・個人懇談会・諸行事等、保護者との交流の機会を多く設けている」では、高い数値を維持しています。今後も、行事はもちろんのこと、学校ウェブページ等を活用しながら、情報を発信し、開かれた学校づくりに努めていきます。一方で、「学校は、保護者の意見を教育活動に生かしている」の数値はやや減少しました。今後は、さらに保護者の皆様のご意見に耳を傾け、信頼される学校づくりを進めていきたいと考えています。また、「先生たちは～」の項目に関しては、評価をいただいているものの数値は昨年度とほぼ同じでした。児童の健やかな成長のために、教職員一同、今以上に努力してまいります。

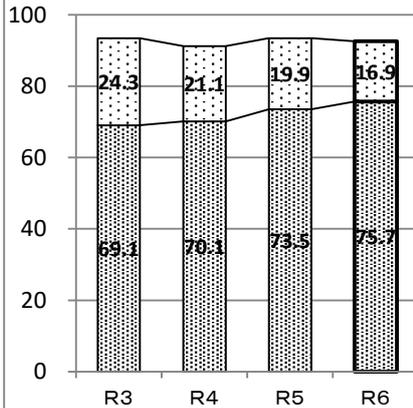
「スマホ利用のルールを決めている」については、「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答した割合が減少しました。LINEなどのSNSやオンラインゲームに関するトラブルは年々増加しています。ご家庭でも、スマホの使い方やルール・マナーについて、改めて話し合っただければと思います。

児童アンケートより(その他の質問項目) 1

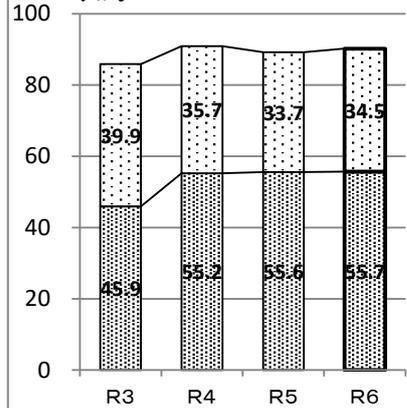
(%) ぐつやかさなどの整頓に気がつけていますか。



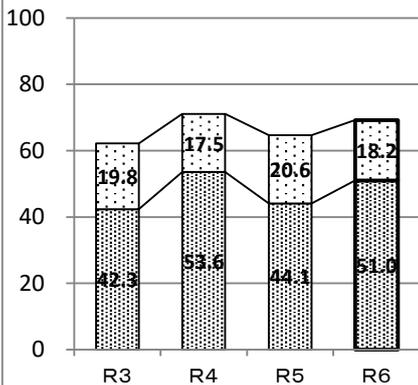
仲のよい友だちはたくさんいますか。



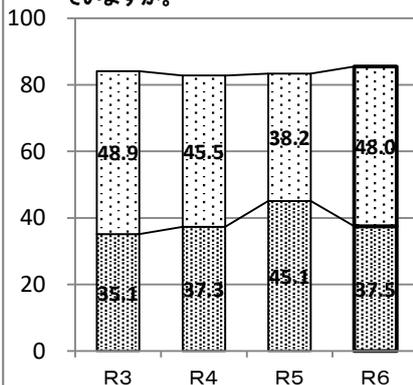
忘れ物をしないように気がつけていますか。



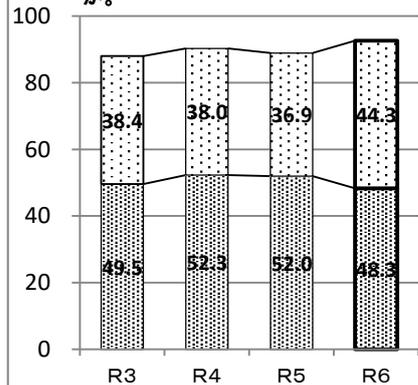
放課は外で元気よく遊んでいますか。



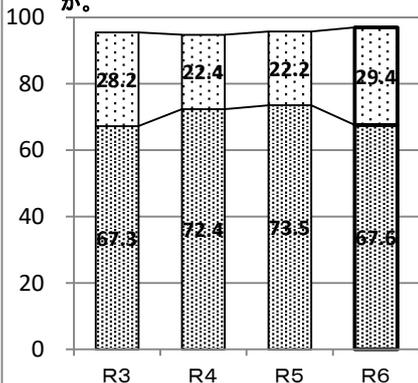
ろう下は右側を静かに歩くように気がつけていますか。



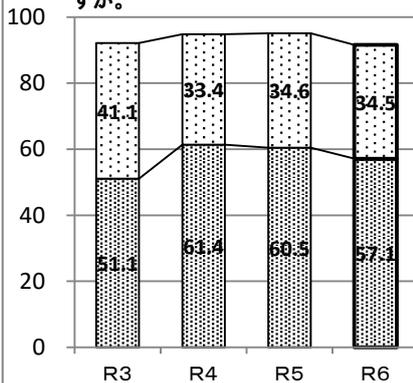
チャイムで席につくことができますか。



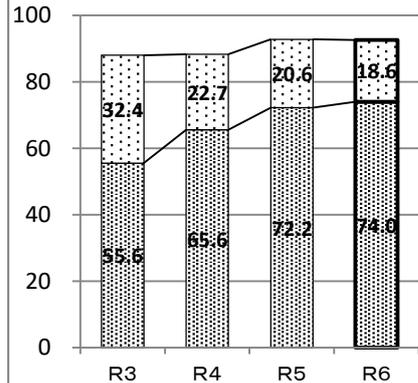
係や当番の仕事をしっかりやっていますか。



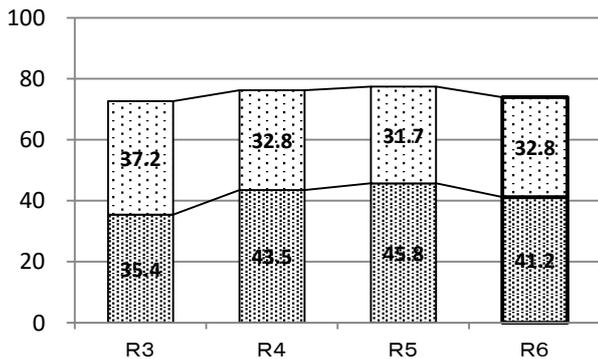
先生の話や友だちの話をよく聞いていますか。



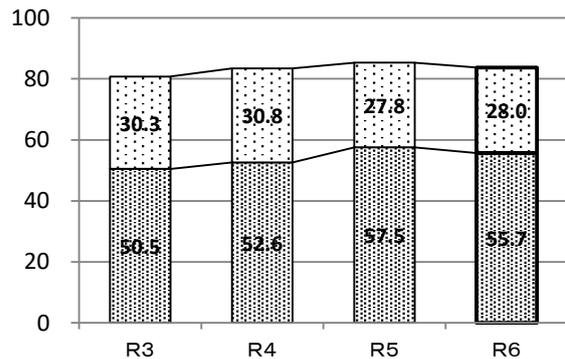
ペア学年との活動は楽しいですか。



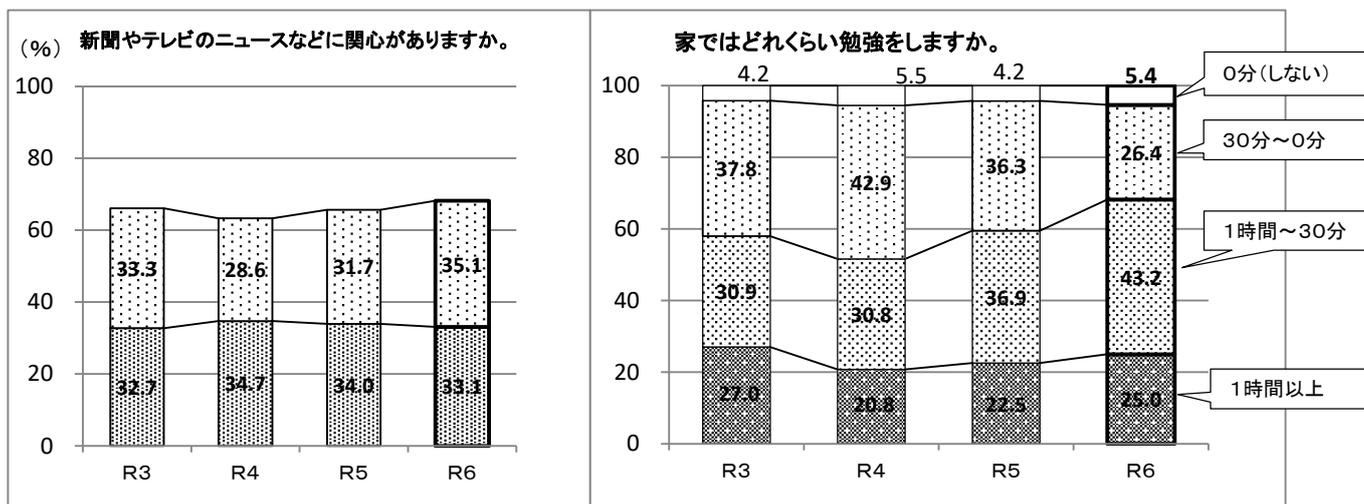
こまったとき、先生に相談していますか。



学校であったことを、家の人に話をしていますか。



児童アンケートより(その他の質問項目) 2



〈児童アンケートをまとめて〉

「チャイムで席につくこと」の数値が増加しました。本年度も「丹陽小学校 授業の約束10か条」を確認し、全校で統一した指導を行うとともに、学習マナー強化週間を設け、時間を意識した行動を促してきました。時間を守って行動することは、学習の効率を高めるだけでなく、社会に出たときに必要となる大切な力です。今後も、日々の積み重ねを大切にしながら、児童が主体的に時間を意識し、行動できるよう指導を続けていきます。

「ペア学年との活動は楽しいですか」の数値も、引き続き高い数値を維持しています。本年度も、児童会や各委員会主催のペア活動を年間を通じて実施し、多くの児童が楽しんで取り組みました。ペア活動では、異学年の児童が協力し合いながら取り組むことで、思いやりの気持ちを育むとともに、上級生が下級生をリードする姿も見られました。活動中、たくさんの笑顔あふれる様子が見られたことは、非常に喜ばしいことです。今後も、異学年交流を通じて、児童同士が支え合いながら成長できる機会を大切にしていきます。

「困ったとき、先生に相談していますか」の「よくあてはまる」と回答した数値が減少しました。学校では、毎月の「心のアンケート」や、学期に1回の児童面接週間を実施し、児童が相談できる環境づくりを進めています。しかし、それだけではなく、日々の学校生活の中でも、児童が先生に相談しやすい雰囲気をつくるのが大切です。児童が「どんなことでも相談してよいのだ」と感じられるよう、温かみのある学級づくりや、共感的な人間関係の構築に努めていきます。

〈学校運営協議会によるご意見〉

児童が自分の持ち物を整理整頓できることは、生活習慣の基礎として重要である。今後も、靴やかさなどの整理に気を配り、自分の物をしっかりと管理できる力を育ててほしい。

ペア学年との活動について、「よくあてはまる」と回答する児童の割合が年々増えていることは、人との関わりの大切さを実感している証といえる。今後も、異学年交流を含めた活動を継続し、児童同士のつながりを深めてほしい。

また、大人との受け答えができることは、社会性を身につける上で重要である。児童が自分の考えや意見をしっかりと述べられるよう、引き続き育成に努めてほしい。

保護者アンケートでは、教員の児童の評価がマイナスな内容に偏ると、「学校は〜」「先生は〜」といった項目への回答が低くなる。教員は、子ども一人一人の成長を温かく見守り、良いところを積極的に認めて伝えることが大切である。

本調査の結果や保護者の方や地域の方からいただいたご意見を真摯に受け止めまして、学校運営協議会をはじめ、関係各方面との協議を含め総合的に判断しながら今後に生かしていきたいと思っております。

また、児童の健やかな成長には、学校・家庭・地域が協力していくことが必要不可欠であると考えています。これからも本校の教育活動に対して、温かいご理解とご協力をお願い申し上げます。